

博士論文評価基準

承認 平成 27.12.10

- 1 論文に新規性、独創性があり、学術的貢献がみられる。
- 2 看護実践への応用が可能であり、有用性がある。
- 3 研究テーマ、問題意識に沿って論旨が明確で一貫性がある。
- 4 研究テーマの設定は適切である。
- 5 国内外の先行研究の十分な検討がなされている。
- 6 研究方法の選択が適切である。
- 7 データや調査結果の分析・解釈が妥当である。